

公開用

令和2年第2回（7月）臨時会

春日部市教育委員会会議録

令和2年7月7日

春日部市教育委員会

- I 期 日 令和2年7月7日 火曜日
II 場 所 春日部市教育センター 2階 視聴覚ホール
III 開 会 13時30分
IV 閉 会 13時55分

V 教育長及び出席委員

教育長 鎌田 亨
教育長職務代理者 金森 良泰
教育委員 水沼 章文
教育委員 岡田 新司
教育委員 秋山 早苗

VI 説明のための出席者

【学校教育部】

学校教育部長 宗広 則行
学校教育部学務指導担当部長 柳田 敏夫
学校教育部次長兼学校総務課長 篠原 直樹
学校教育部学務指導担当次長兼指導課長 舘野 俊之
学務課長兼学校給食センター所長 小岩井 稔之

【社会教育部】

社会教育部長 村田 誠
社会教育部次長兼社会教育課長 神谷 司

VII 書記

学校総務課 総務担当主幹 西川 宏之
学校総務課 総務担当主査 芦野 太朗

VIII 署名委員の指名

金森委員

IX 会議に附した議案

議案第25号 令和2年度春日部市一般会計（教育費）補正予算について

X 会議の要旨

鎌田教育長

それでは、ただいまから令和2年第2回（7月）臨時教育委員会を開会いたします。
はじめに、本日の会議録署名委員を指名します。金森委員、お願いします。

それでは議事に入ります。

はじめに議案第25号 令和2年度春日部市一般会計（教育費）補正予算についてを議題としますが、議案第25号については、7月市議会臨時会に上程する議案に関する事項であるため、春日部市教育委員会会議規則第18条の規定により会議を非公開とします。

それでは、議案第25号について、説明を求めます。

篠原次長、お願いします。

篠原学校教育部次長（兼）学校総務課長

議案第25号、令和2年度春日部市一般会計（教育費）補正予算について、提案理由及びその主な内容について説明申し上げます。

議案書1ページをご覧ください。

提案理由でございますが、7月臨時市議会に提案する令和2年度春日部市一般会計補正予算に教育費補正予算を要求したく提案するものでございます。

次に、補正予算の内容につきましては、配布いたしました令和2年度春日部市一般会計（教育費）補正予算書及び事業別概要書（第5号）に基づきまして説明申し上げます。

それでは、補正予算書1ページをご覧ください。

第1表、歳出予算補正で総括表でございます。

10款、教育費、補正前の額、66億5854万5千円から、10億3165万4千円を増額し、補正後の額を76億9019万9千円とするものでございます。

次に、歳入及び歳出の事業別概要について、内容を説明申し上げます。

まず、歳入でございます。

2ページをご覧ください。

最上段と2段目は、国庫支出金の、1節、小学校費補助金となっており、3段目と4段目は、2節、中学校費補助金となっております。

初めに、最上段、公立学校情報機器整備費補助金、3億1941万円の増及び3段目、同事業、1億6231万5千円の増は、情報機器を整備することに対し、国から補助金が交付されるため、補正するものです。

次に、2段目、学校保健特別対策事業費補助金、1712万2千円の増及び4段目、同事業、879万8千円の増は、新型コロナウイルス感染症を予防することに対し、国から補助金が交付されるため、補正するものです。

次に、5段目、県支出金、スクール・サポート・スタッフ配置事業補助金、1125万9千円の増は、スクール・サポート・スタッフの追加配置の費用に対し、県から補助金が交付されるため、補正するものです。

次に、最下段、学習支援事業費補助金、1078万7千円の増は、普通学級支援助手の追加配置の費用に対し、県から補助金が交付されるため、補正するものです。

次に、歳出でございます。

3ページをご覧ください。

最上段、教育総務職員人件費、34万2千円の減は、新型コロナウイルス対策費として、教育長の人件費の一部を充てることに伴い、補正するものです。

次に、2段目、学校教育支援事業、2006万2千円の増は、新型コロナウイルス感染症対策に必要な学習指導員の増員及び小学校、義務教育学校の修学旅行の中止に係る費用について、補正するものです。

次に、3段目、スクール・サポート・スタッフ配置事業、1173万7千円の増は、新型コロナウイルス感染症対策に必要なスクール・サポート・スタッフを増員するため、補正するものです。

次に、4段目、小学校運営事業2928万6千円の増及び次の4ページ、最上段、中学校運営事業、1546万6千円の増は、新型コロナウイルス感染症対策に必要なアルコール消毒液、スポットクーラーなどの備品等を整備するため、補正するものです。

3ページにお戻りください。

最下段、小学校情報教育推進事業、6億1047万円の増及び次の4ページ2段目、中学校情報教育推進事業、3億928万5千円の増は、学校のICT環境の充実を図ることから、タブレット型パソコンなどのICT機器を整備するため、補正するものです。

次に、4ページ、最下段、小学校給食運営事業、465万円の増、次の5ページ、最上段、中学校給食運営事業、204万7千円の増及び2段目、給食センター運営事業、46万5千円の増は、夏季における学校給食の実施に伴う調理場の熱中症対策に必要なスポットクーラーやアイスベストなどの備品等を整備するため、補正するものです。

小、中、義務教育学校に関しての支援策は、以上の事業となりますが、高校生世代への支援策として、次の最下段、青少年学習支援事業、2852万8千円の増で、高校生世代へ図書カードを配布することにより、家庭学習を支援するため補正するものです。

以上、よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

鎌田教育長

何かご質問はありませんか。

岡田委員

補正予算書の3ページ、教育総務職員人件費ですが、補正理由では教育長の人件費の一部を充てるとの記載になっております。34万2千円を減額し補正後の額が4億5540万9千円となっておりますが、この予算は誰の人件費なのですか。

鎌田教育長

篠原次長、お願いします。

篠原学校教育部次長(兼)学校総務課長

人件費につきましては、教育委員会職員全体の額が計上されているものです。

岡田委員

そうかなとは思ったのですが、補正理由の教育長の人件費の一部との記載があったので、この予算額の全てが教育長の人件費と解釈してしまう恐れがあるので、補正理由の書き方について検討された方がよろしいかと思います。

次に、その下の学校教育支援事業ですが、小学校、義務教育学校の修学旅行の中止に係る費用について、修学旅行や林間学校が中止になると思うのですが、全て中止になってしまいますと児童が可哀想だと思います。6年生に対するケアについては、今後、どのようにされる予定かお聞かせください。

鎌田教育長

舘野課長、お願いします。

舘野学務指導担当次長（兼）指導課長

修学旅行が、もし万が一、実施ができない場合には、保護者、子供達の心情に寄り添いながら、各学校が適切な教育活動を展開していくと考えているところでございます。

具体的には、それぞれの学校長が地域の実態や子供達の実態に応じて、判断するものと考えております。

以上でございます。

岡田委員

修学旅行は、9月、10月でしたか。

鎌田教育長

舘野課長、お願いします。

舘野学務指導担当次長（兼）指導課長

それぞれ期間が分かれておりまして、早い学校では8月下旬、遅い学校ですと11月となります。

岡田委員

今の状況ですと、新型コロナウイルス感染症の第二波も考えなくてはならず、春日部市においても感染者が少数ではありますが増えている状況ですから、修学旅行は楽しみですので、早めに対策を考えてあげていただきたいと思います。

舘野学務指導担当次長（兼）指導課長

はい。

ありがとうございます。

鎌田教育長

補足説明いたしますと、中学校の修学旅行は概ね5月から7月にかけて一度計画されて

いるものを延期してあります。一度中止をして、延期して再設定しているのが8月の下旬から12月にかけて改めて予約を取り直しております。既に、それについてもキャンセル料が発生している学校等々いろいろありますが、保護者負担を軽減するために今回予算措置をしたものでございます。

なお小学校については、館野課長より説明があったとおりでございますけれども、判断は実際にこれからになります。できれば修学旅行に行かせてあげたいと考えておるところです。しかし、最悪の事態に備えて学校といたしましても、子どもや保護者の気持ちの寄り添いながら、昨年度と同じ行事はできませんけれども、代わりの行事を何かできないかとか、例えば林間学校については中止を決定しておりますので、林間学校の代わりに1日学校で何か代わりのものができないかということで、子どもの心情に寄り添って行事を計画するように各学校ではこれから考えていくことになります。

他に委員の皆様からご質問はありませんか。

水沼委員

2点、素晴らしいなと思ったことがございます。

補正予算書の4ページ、5ページの小学校給食運営事業、中学校給食運営事業及び給食センター運営事業ですが、厨房の感染症対策で調理場の熱中症対策となっております。なかなか厨房というのは学校教育の中で意外と盲点に入っている部分があるかと思えます。窓を全開にして蚊が入ってきてしまったとかもあろうかと思えます。素晴らしい対応かなという気がします。

もう1点は、同じく5ページの青少年学習支援事業で、図書カードを配布するとなっております。現在、春日部で高校生世代の人数と、1人当たりの金額を参考までに教えていただければと思います。

鎌田教育長

神谷課長、お願いします。

神谷社会教育部次長（兼）社会教育課長

高校生世代の考え方ですが、生年月日が平成14年4月2日から平成17年4月1日までの方で、予算上は6千500人で積算しておりますが、6千352の方が対象となっております。

この方々に1人当たり3千円を配布する予定です。3千円というのは、同種の事業を行っている近隣の自治体を参考にしておりまして、埼玉県の推奨図書がございまして、高校生、青少年向けの推奨図書の書籍5冊の定価の平均が、約2千円から3千円でありますので、総合的に勘案いたしましたのと、教育委員会職員で図書館司書の意見を聴取し、一般的に高校生が必要とする図書、これは参考書等も含めて3千円があれば、ある程度の図書は購入できるということも踏まえまして、3千円という額を設定させていただきました。

以上でございます。

水沼委員

ありがとうございます。

鎌田教育長

他にはありませんか。

[「ごさいません」と言う人あり]

鎌田教育長

ないようですので、これより採決をいたします。

議案第25号 令和2年度春日部市一般会計（教育費）補正予算について、原案どおり決するに賛成の委員の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

鎌田教育長

挙手全員であります。よって、議案第25号は、原案どおり可決と決しました。

会議の非公開を解き、これより会議を公開とします。

以上で、議案の審議を終了します。

それでは、次回教育委員会の日程をお願いします。

宗広学校教育部長

次回は7月定例会となります。7月16日、木曜日、午後3時から、教育センター2階会議室での開催を予定しております。

以上でございます。

鎌田教育長

以上で、令和2年第2回（7月）臨時教育委員会を閉会いたします。